

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年12月分)

1. 調査実施期間 平成20年 11月20日 ~12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

12月分の回答企業数は36社、回収率は75.0%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/12月	21/1月	2月
仕入動向	国産材	△ 23.2	△ 33.9	△ 22.2
	外材	△ 26.6	△ 39.1	△ 27.4
販売動向	国産材	△ 33.3	△ 44.4	△ 36.5
	外材	△ 37.5	△ 42.2	△ 29.0
在庫動向	国産材	△ 14.8	△ 18.5	△ 13.5
	外材	△ 21.0	△ 21.0	△ 16.7

仕入は国産材、外材とも大きなマイナス幅で全く弱く、年明け後にも一層の厳しさが見込まれる。販売も国産材、外材とも大きなマイナス幅で、若干上下あるが極めて弱く、先行き同様な様相。在庫は国産材、外材ともやや大きなマイナス幅でほぼ横ばい。先行き、在庫滞留状態。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

	品 目	21/1月	2月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	△ 2.5	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	△ 2.4	△ 2.5
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.6	△ 7.9	△ 5.3
米ツガ防腐土台角	△ 4.8	△ 4.8	△ 2.5
米ツガ割物(現地挽)	△ 8.3	△ 5.6	0.0
米マツ平角	△ 7.1	△ 4.8	△ 5.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	18.4	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 32.5	△ 15.0	△ 7.9
レッドウッド集成平角	△ 25.0	△ 25.0	△ 9.4
型枠合板(国産)	△ 36.7	△ 20.0	△ 7.1
型枠合板(輸入)	△ 35.3	△ 20.6	△ 6.3
針葉樹合板	△ 31.3	△ 25.0	△ 6.7

スギ正角(グリーン、KD)ゼロで新年明けと頑張っている。またヒノキ正角、土台もゼロ、小さなマイナスとどうにか堅調維持。米ツガは各品目とも小さなマイナス基調でやや弱含み。米マツ平角も同様にやや弱含みでの推移。北洋アカマツタルキ大きなプラスからゼロへ一気に勢い失くしたが、好調に変わりない。WW集成管柱、RW集成平角とも大きなマイナス幅縮めるが先高観なくし弱い。合板(針葉樹を含む)は集成材同様に大きなマイナス幅縮めるも先行きの陰り注視される。

先月と比べると様子一変、今後の底入れ全く不透明。

1. 荷動き		コメント
仕入動向	米マツ一般材丸太では、米材輸出価格が11月積みは据え置きとなった。カナダ材は相変わらず出材が少なく、特にオールド材の現地在庫は極端に少なく強含みだが、船運賃の下落、為替等により12月入荷分からコストは安くなる。(東京:米材問屋)	
	仕入れ価格は落ち着いてきました。産地側のオファーは少ないが、内地側も売れないので丁度良い。(東京:米材問屋)	
	構造材売れ行き不振で仕入れ意欲減退。(東京:米材問屋)	
	極端に悪くなってきたため仕入れにブレーキ。(東京:米材問屋)	
	荷動き不振のため仕入れを抑える。(東京:米材問屋)	
	産地価格は高値止まり。円高分の上乗せ傾向あり。日本向け減産の傾向が強い。(東京:南洋材問屋)	
	現地は雨期入りし、原木の出材は低調。(東京:南洋材問屋)	
	現場も少なくなり無駄な材は安い単価であっても動かない。値段がないようである。(東京:国産材問屋)	
	良材丸太が少ないせいか良い製品が減っている。(東京:国産材問屋)	
	米ヒバ土台は内地挽から現地挽へ移行。内地挽邸別65,000~70,000円。(東海:国産材問屋)	
販売動向	米マツ丸太、京浜マーケットでは仕事を持つメーカーが限られており、問屋も売りが集中するため、価格は強含んでいる。(東京:米材問屋)	
	11月中旬より全く売れなくなった。電話も鳴らず、問い合わせ・見積もりもない。危機的状況である。(東京:米材問屋)	
	売れ行き不振、打つ手なし。(東京:米材問屋)	
	見積もり、問い合わせは多いが、価格面では厳しい状況が続いている。(東京:南洋材問屋)	
	年末の駆け込みの仕事が出てきている。(東京:南洋材問屋) 悪いの一言。(東京:国産材問屋)	
	11月は良かったが先は見通し立たず。スギ小割の動き良い。(東京:国産材問屋)	
	11月初旬より開店休業状態である。見積りも来ない。(東京:国産材問屋)	
	ロシア材も高値を唱えているが、アカマツタルキ胴縁1,000円/m3あたりの下げか。(東海:国産材問屋)	
	新築は半年~1年前に計画を立てるので急激な落ち込みは無いが、リフォーム工事は早くも金融不安の影響が出てきており、極端に悪くなった。緊急に必要な補修工事以外は全く無くなったという状況。(東京:仲買小売)	
	12月に入って売れ行き不振が一層鮮明になった。(東京:仲買小売)	
在庫動向	リフォーム工事も一段落。12月、1月はかなり厳しそう。(東京:仲買小売)	
	米マツ丸太の問屋手持在庫はセミカスケード中心で、販売の動きは鈍い。12月1月と連続して入荷があるため、確実に在庫は積み増しとなる。(東京:米材問屋)	
	買い手側の徹底した当用買いで在庫は漸増傾向である。とにかく売れない。(東京:米材問屋)	
	売れ行き悪いので在庫もそれに合わせ少なくしている。(東京:米材問屋)	
	これから不需用期のため在庫を減らす予定。(東京:米材問屋)	
	全般的な入荷量が少ないために在庫量も減少。欠品アイテムが目立つ。(東京:南洋材問屋)	
	住宅着工1割減の予想なのに、円高と経済を取り巻く環境、雰囲気が悪すぎる。先行不安のため在庫出来ない。(東京:問屋)	
	今の状況では在庫は増やせない。(東京:国産材問屋) 新材入荷で在庫は増える。(東京:国産材問屋)	
	ベニヤ類も先行き下がるので極力在庫を減らしている。(東京:仲買小売)	
2. 価格動向		
スギ正角	構造材は動かず。価格も動かず。(東京:仲買)	
ヒノキ正角 土台角		
米ツガ	年内一杯は下げ、年明け2月以降は在庫調整が進む。(東京:米材問屋)	
米マツ平角	構造材は不振をきわめている。(東京:問屋)	
北洋アカマツ タルキ	WTOがらみで関税問題が先送りされそうだが、量的にも主力商品であるだけに動向に最大の関心を持っている。(東京:仲買小売)	
	産地国の関税引き上げ延期、供給の安定により、入荷量の増加、価格もやや落ち着きをみせる。(東京:仲買小売)	
	入荷少なく仕入れ値強気。(東京:仲買小売)	
WW・RW 集成材	荷動き不振のため価格下がってきた。しかし買いは鈍い。(東京:問屋)	
	レッドウッド:下げに入ってきた。(東京:問屋)	
合板	弱い。(東海:国産材問屋)	
	どうにも需要が無い。相場商品なので上昇と下落の差がはっきり現れる。(東京:仲買小売)	
	目下の経済状況から需要減退は避けられず、必然的に価格低下となるだろう。下落がどの辺で止まるか。(東京:仲買小売)	